

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FT

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします!

取材：営業部 営業企画推進課

池田町立温知小学校様

【校訓】温故知新～伝統と創造～

【教育目標】よく考え 心豊かに たくましくやりぬく子

池田町立温知小学校の校長・末松先生と、事務・清水様に

2021年9月に導入されたORPHIS FT5230についてお話を伺いました。

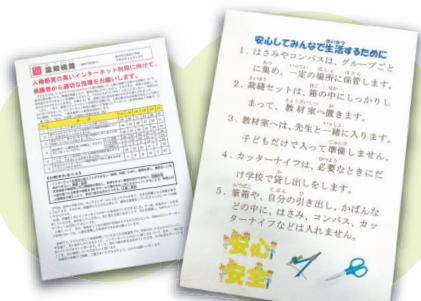
さらなる進化をとげた ORPHIS

当校は、揖斐郡池田町にある小学校5校の中で生徒数が一番多く、19学級・450人の生徒が在学しています。配布する印刷物や日常的に印刷するものが多いこと、プリンター出力増に伴ってリソグラフでの印刷による職員の負担が大きくなつたことから、2014年に高速インクジェットプリンターORPHIS EX7250を導入しました。ORPHISの導入により印刷物の生産性は大幅に向ふし、教材や学年だより・学校だよりの印刷を高速に印刷できるようになつたため、学校内の印刷環境は大幅に改善されました。今回、耐久年数7年間を迎えたため新機種のORPHIS FT5230に入れ替えを行いました。前機種のEX7250のプリントスピードは毎分120枚と高速で不便はしていませんでしたが、今回導入したORPHIS FT5230はファーストプリント・スキャンスピードが向上していて、さらに印刷スピードが上がつたことで、職員がORPHISを使用する際の印刷渋滞の緩和に繋がりましたね。便利さ故に印刷が集中しがちなORPHISもさらなる進化をとげ、学校内でもより助かっています。

そして、学校現場の印刷環境改善として今回新たに「オフセッタステープル排紙トレイ」オプションを導入しました。オプションが付いていなかつた時は、特に職員会資料の作成に苦労していました。多枚数・多部数を印刷した後に丁合を行い、その後ステープルをして…全ての作業を終えるまでかなりの時間を有しました。オプションが追加されてからは、スピードの速さにプラスしてステープル等の後処理も行ってくれる理想の機械ですね。また、プログラム印刷機能(予め生徒数を登録し出力する)+オフセッタ排紙(区分けして排紙する)の組み合わせ機能もついているので、印刷指示さえてしまえば後は放つておいても手作業で仕分けを行う必要無くすぐに生徒たちへ配布できます。この機能により職員の印刷負担がかなり軽減されましたね。印刷作業にかかっていた時間を他の業務に充てることが出来て、ORPHISは働き方改革に大きく貢献してくれていますよ。そして、ささいなことですが印刷物にページ数を入れ忘れてしまった時は、スタンプ機能(ページ・日付・テキストを入れる機能)で後から簡単にページ数を追加できるため助かっていますね。

ORPHIS導入によるカラー印刷の多様化

ORPHISのカラーコストは1円台と、モノクロ印刷並みの低ランニングコストで印刷可能ですので、学校内でもカラー印刷をより身近に感じるようになりました。ORPHISでカラー印刷を行つているものはテストや一部の通信、掲示物等、多岐に渡ります。モノクロ印刷でも、強調したい部分をワンポイントでカラー印刷する等して活用をしています。一部分だけでもカラーにすることでパッと目に留まりやすく、生徒たちや保護者の方等の受け手側へも情報が入つていいやすいですね。今後もORPHISの特性を上手く活かしながら、必要なものはカラー印刷を活用し、生徒へより分かりやすい教育を発信し続けたいと思います。



営業担当者の声

この度FT5230を導入する際にオフセッタステープル排紙トレイオプションを追加したことで学校現場の「働き方改革」に対し貢献ができた事 営業担当:橋本 浩明を嬉しく思っております。引き続き現場環境に適したアフターフォローを行つて参りたいと思います。

